

## 委員会報告

# 土木学会英文論文集の国際標準的運用整備とJIF取得に向けた取り組み

## 土木学会論文集編集委員会の方針と今後の展望

土木学会論文集編集委員会 委員長

吉田 秀典（香川大学）

土木学会論文集は、土木学会誌の臨時増刊号として1944（昭和19）年に第1号が発行されて以来、土木工学に関する理論、実験、設計、計画などの研究論文、創意のある工事の実施、調査報告などを掲載している。

近年、研究成果の国際的発信の重要性が一層高まる中、学協会が発行する学術ジャーナルには、国際的な評価指標であるジャーナルインパクトファクター（Journal Impact Factor：以下、JIF）の取得や、主要な文献データベースへの掲載が強く求められている。土木学会論文集編集委員会では、当会が発行する和文誌（土木学会論文集）および英文誌（Journal of JSCE）の国際的評価の獲得、ならびに国際標準に準拠した編集運営体制の確立を目的として、近年、ジャーナ

ル編集体制および投稿・査読・発刊に関する運用の整備を進めてきた。

本稿では、2026年1月より本格的に実施される英文論文集（Journal of JSCE）の国際標準的な運用方針について、その目的、背景、ならびに具体的な整備内容と今後の展望を報告する。

### ジャーナル編集整備の目的

土木学会における論文集編集の中長期的目標は、和文誌および英文誌双方においてJIFを取得し、その後、投稿数・掲載数の確保、審査・編集の円滑化を通じて、安定的かつ持続的な運営を維持・向上させることである。

そのために、学術文献のインデックス掲載を目指し、まず和文誌については、Elsevier社が運営する引用索引デー

タベース「Scopus」への掲載を最初のステップとして掲げている。一方、英文誌についてはすでに「Scopus」への掲載を果たしていることから、次なる段階としてClarivate Analytics社が提供する「Emerging Sources Citation Index（ESCI）」への掲載を目指す方針である。

ESCIへの掲載は、将来的なJIF取得への前提条件の一つであり、その達成には国際標準的な編集・運営体制の整備が不可欠である。

### 国際標準的な運用整備の必要性

英文誌のESCI掲載には、国際標準に準拠した運用体制を確立することが求められる。具体的には、投稿規定、倫理規定、編集委員会体制などの整備が必須であり、加えて、ジャーナルの品質を管理することが審査における重要な要素となる。

このため、土木学会論文集編集委員会では、外部の学術出版コンサルティング会社の助言を得ながら、国際基準にのっとった体制の構築に向けて検討を重ねてきた。特にESCI審査項目の中でも重視される「オリジナリティ」「多様性・国際性」「掲載数の維持」「論文の質」を満たすために、「投稿数の増加」が大きな課題

となる。そのため、投稿準備の簡易化や、審査から掲載までの期間短縮といった、著者にとって利便性の高い運用への改善が求められた。

### 具体的な整備内容

今回の英文論文集（Journal of JSCE）の運用見直しでは、以下のような具体的な改善を実施する。

**投稿要項・査読要領・倫理規定の改訂**  
国際的な倫理指針に準拠し、投稿者・査読者・編集者の責務と手続きを明確化する。

**投稿受付方式の変更（著者によるフォーマット作業の廃止）**  
著者が詳細な原稿フォーマットに従って作成したPDF形式の原稿による投稿受付を廃止し、必要最小限の情報のみで限定したフォーマット不要のWord形式での提出に一本化する。これらの整備は、著者負担の軽減と編集効率の

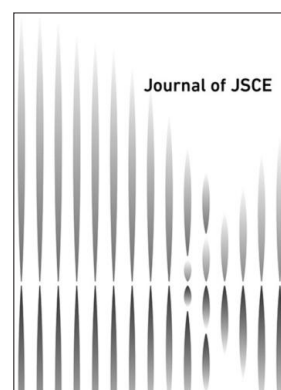


図1 Journal of JSCE ジャーナル表紙

表1 2026年1月以降の土木学会論文集体制

項目	和文論文集 (通常号)	和文論文集 (特集号)	英文論文集 (通常号)	英文論文集 (特集号)
ジャーナル名	土木学会論文集	土木学会論文集	Journal of JSCE	Journal of JSCE Special Publication
巻 (Vol.) ※2026年発行時	Vol.82	Vol.82	Vol.14	2026
号 (No.)	No.1~12	No.13~28	※号 (No.) ナシ	※号 (No.) ナシ
公開時期	月刊	随時公開 ※号 (No.) 別に刊行	随時公開	随時公開

表2 2026年の和文論文集の巻 (Vol.) と号 (No.)

項目	和文論文集(通常号)		和文論文集(特集号)	
ジャーナル名	土木学会論文集			
巻 (Vol.)	Vol.82			
号 (No.)	号 (No.)	構成	号 (No.)	構成
	No. 1	通常号 ( 1月号 )	No.13	特集号 (地震工学)
	No. 2	通常号 ( 2月号 )	No.14	特集号 (複合構造)
	No. 3	通常号 ( 3月号 )	No.15	特集号 (応用力学)
	No. 4	通常号 ( 4月号 )	No.16	特集号 (水工学)
	No. 5	通常号 ( 5月号 )	No.17	特集号 (海岸工学)
	No. 6	通常号 ( 6月号 )	No.18	特集号 (海洋開発)
	No. 7	通常号 ( 7月号 )	No.19	特集号 (トンネル工学)
	No. 8	通常号 ( 8月号 )	No.20	特集号 (土木計画学)
	No. 9	通常号 ( 9月号 )	No.21	特集号 (舗装工学)
	No.10	通常号 (10月号)	No.22	特集号 (土木情報学)
	No.11	通常号 (11月号)	No.23	特集号 (建設マネジメント)
	No.12	通常号 (12月号)	No.24	特集号 (安全問題)
			No.25	特集号 (環境工学)
		No.26	特集号 (環境システム)	
		No.27	特集号 (地球環境)	
		No.28	特集号 (木材工学)	

向上の双方に寄与するものであり、投稿数の増加や審査期間の短縮にもつながることが期待される。

## 今後の展望

土木学会論文集編集委員会では、2026年1月から英文論文集 (Journal of JSCE) の新体制の運用を開始し、新運用での受付・審査・掲載を進めながら、E

SCI 収載申請に向けた準備を進めていく予定である。中長期的には、E SCI 収載を経て J I F 取得を実現し、国際的に広く引用・参照され、質の高い、魅力ある論文発表の場を確立することを目指す。

## 英文論文集 (通常号・特集号) の再編

2023年1月より、和文論文集 (通

常号・特集号) を掲載する「土木学会論文集 (Japanese Journal of JSCE)」と、英文論文集 (通常号・特集号) を掲載する「Journal of JSCE」の2誌体制となり、通常号と特集号を一つの論文集にまとめた構成で刊行していた。

今回、2026年1月からの英文論文集 (Journal of JSCE) の運用整備に伴い、英文論文集 (通常号・特集号) の構成を変更する。なお、和文論文集 (通常号・特集号) については、2026年1月以降も変更はない。

## 「Journal of JSCE」 (通常号)

「Journal of JSCE (土木学会英文論文集)」は、2026年 (Vol. 14) より、「通常号のみ」の構成とし、国際標準的な運用整備を実施する。

## 「Journal of JSCE Special Publication」 (特集号)

2026年1月より、英文特集号用ジャーナル「Journal of JSCE Special Publication」を創刊し、特集号の英文論文の掲載先を、これまでの「Journal of JSCE」から「Journal of JSCE Special Publication」に変更する。

土木学会論文集編集委員会では、会員各位のご理解とご協力を得ながら、より質の高い論文が集い、発信されるジャー

ナル運営を推進していく所存である。今後とも、論文集の発展にご支援を賜りますようお願い申し上げます。